

HINO

CSR Report 2009

人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する



日野自動車のCSR

日野自動車では、CSR活動を「社会からの期待に応え、社会とともに持続的発展を目指す活動」と考え、自社を取り巻くステークホルダーや、社会からの期待に応えることを目指して活動を推進しています。このレポートでは、その活動の一部をご紹介します。



HINOの主要なステークホルダー

日野のCSR

CSR活動領域とCSR指針

2007年7月に、CSRの観点から企業理念を見直し、新たに「HINO基本理念」を制定しました。

2008年度では、「HINO基本理念」を実現するための具体的な目標として「CSR指針」を策定し、3つのCSR活動領域のうち、第2領域「事業活動を通じた社会貢献活動」と第3領域「事業活動外での社会貢献活動」における活動の指標としています。

2009年度は、このCSR指針の浸透を図るために、全社に向けたアンケートの実施や社員による座談会を開催しました。推進事務局では、これらの結果をもとに、さまざまな角度から浸透のための施策検討を進め、施策の企画・実施に努めます。



お客様とともに

私たちは、お客様のお役に立つ商品やサービスを提供し、お客様の期待に応えます。

お客様満足の向上に向けた考え方と取り組み

日野自動車では、常にお客様第一の視点に立ち、お客様満足と品質の向上に努めています。

お客様相談窓口を通じ、お客様からのさまざまなご相談、お問合せを承ったり、お客様関連室によるCS(Customer Satisfaction: お客様満足度)調査を通じた改善活動をおこなっています。さらに、販売会社が実施するCS研修の支援やCSに関するノウハウを標準化するためのマニュアル2種類の展開などもおこなっています。

また、製品・サービスの品質向上については、HQA(HINO Quality Assurance System: 日野統合品質情報システム)を国内の販売会社までに拡大し、お客様の声を収集する体制を構築する



CS研修風景



CS研修マニュアル

など、品質情報への迅速な対応を図っています。今後は海外の販売会社への導入を拡大し、仕入先からの情報も一元化するなど、HQAシステムの充実を図ってまいります。

社員とともに

私たちは、社員一人ひとりを尊重し、自ら成長できる職場づくりに努めます。

雇用・人材育成の取り組み

2007年に障がい者雇用の促進を目的とした特例子会社「日野ハーマニー株式会社」を設立し障がい者雇用推進に努めるほか、高齢者再雇用制度の導入など、従業員の多様な働き方の推進に力を入れています。人材の育成・教育の面では、能力開発、人材育成体系を整え研修制度の充実をはかっています。また全社技能交流会や、日野工業高等学園での教育は、日野自動車の「モノづくり」の技能伝承に大きく寄与しています。



全社技能交流会のようす

働きやすい職場環境への取り組み

社員の安全と健康の確保のための労働安全衛生管理体制を確立し、安全衛生教育、メンタルヘルスケアの充実を図っています。また、ワーク・ライフバランスと次世代育成支援制度など福利厚生の実施に努め社員の働き方の見直しに取り組んでいます。

ワーク・ライフバランスと次世代育成支援制度の利用実績 (単位:人)		
制度名	内 容	利用実績
育児休業	子どもが満2歳に達した直後の3月まで休職	71
育児短時間	子どもが満3歳に達するまで勤務時間を短縮	51
コアなしフレックスタイム	子どもが小学校3年3月末までコアタイムの制限廃止	21
子の看護休暇	子どもが小学校3年3月末まで年5日の休暇	44

お取引先とともに

私たちは、充分なコミュニケーションにより、信頼関係を育み、相互発展に努めます。

販売会社とともに

日野自動車では、「お客様の期待をカタチに」を国内営業活動のスローガンに掲げています。このスローガンのもと、販売会社とメーカーが一体となって、トラック・バスの製品だけでなく、整備・フロント、24時間サービス、運転講習会等のアフターサービスでもお客様をサポートしていきます。販売会社とのコミュニケーションを通じて信頼関係を構築し、エコドライブ情報交換会を実施するほか、グローバルにおいてもよりよい意思疎通を図り、協力体制を構築していきます。



株主様とともに

私たちは、経営環境の変化を先取りし、企業価値の向上に努めます。

IR活動の基本的な考え方

株主様に当社に対する正しい理解を深めていただくために、事業活動の内容を適時・適正に開示することが重要であると考え広報活動を実施しています。またマスコミ記者会見およびアナリスト会社説明会を実施して、業績向上に向けた課題とその施策等を公表しています。それらの情報は、ホームページでも広く一般に公開しています。

仕入先とともに

調達の最も重要な課題は、作業の安全確保のもと、「技術、品質、価格、納期などを総合的に判断し、最適な部品を世界中から調達すること」であると考えています。そのために、HINO理念やCSRの活動領域等、日野自動車のCSRへの考え方を仕入先の皆様にも理解いただけるよう、CSR調達方針の策定に着手するなど、日野自動車のパートナーとして仕入先の皆様とよりよい取り引きが継続できるよう、公平かつ公正な関係の構築に努めています。

また仕入先各社とのコミュニケーション強化の一環として「日野自動車仕入先総会」を開催しており、2008年度は326社にご参加いただきました。

2008年度の主な株主様・投資家様への情報提供

2008年4月	決算発表説明会
2008年7月	第1四半期決算説明会
2008年10月	中間決算発表説明会
2009年1月	新春記者会見
2009年1月	第3四半期決算説明会

国際社会、地域社会とともに

- 私たちは、安全で環境にやさしい商品を提供し、すべての企業活動を通じ、地球環境との調和に努めます。
- 私たちは、事業活動をおこなうすべての地域で社会貢献活動に努めます。
- 私たちは、高い倫理観を持ち、法令を遵守し、健全な企業市民であることに努めます。

移動式図書館用の車両を提供

インドネシア現地法人は、移動式図書館用の車両として小型トラックをNPOに寄贈し、森林保全の大切さやオランウータン保護の必要性を読書から習得するなど、読書の大切さを広めています。



寄贈した移動図書館用小型トラックとNPOの方々

学校改修や学用品の贈呈で、子供たちに学習機会を提供

インドネシア現地法人は、工業団地内の日系企業19社で構成する団体に参加し、その団体を通じ、近隣の小学校8校の児童約1,900人を対象に、学用品を寄贈しました。本プログラムは2002年に始まり、学用品贈呈のほか、児童を対象にした工場見学会をおこなっています。



学用品の贈呈

環境保全への取り組み

生産・物流段階の環境活動

工場での省エネルギー活動

日野自動車羽村工場は、経済産業省の平成20年度「エネルギー管理優良工場等表彰」において「経済産業大臣賞」を受賞しました。今回の受賞は、待機電力の低減を図るため、工場内設備の386カ所に積算電力計を設置、さらに構内LANに接続して電力使用量の「見える化」を可能とすることで、無駄な電力使用の大幅な改善をはかるなどのエネルギー管理に関する功績が認められたものです。



社内座談会を開催

2006年度からスタートしたCSRへの取り組みが、社内ではどのように受けとめられているのか、また社員にCSRに対する意識を浸透させるための課題は何かについてを把握する目的で、2009年6月4日、11名の社員が集まり、同年4月に実施した社内アンケート結果をもと



に、座談会を開催しました。

座談会の前半では、日野グループとして定義したCSR活動の第2領域である「事業活動を通じた社会貢献活動」についての意識や浸透させるための課題について議論し、後半では第3領域である「事業活動外の社会貢献活動」について各部の活動状況やこれからの取り組みについて意見交換をおこないました。

お客様ニーズに応じた商品をグローバルに提供

日野自動車は、世界各地で石炭をはじめとした鉱山開発に使用するダンプ車など、商用車の提供をおこなっています。世界各国のニーズに、ものづくりでさらに貢献したいという強い想いから、アジア最大の石炭輸出国であるインドネシアと世界第3位の石炭産出国であるインドでの取り組み強化を目指しています。

インドネシアでは、当社の優位性を確立すべく「高積載」に加え「高品質」「高耐久性」「低燃費」という当社が長年培ってきた技術を結集し



た鉱山開発用トラックの提供とお客様の現場に深く入り込んだサービスの実現を目指しています。

インドでは08年8月にHino Motors Sales India Private Ltd.を設立しました。鉱山開発においては、インドネシア市場と同様に、高積載な車両と着実なサービスが求められます。現在、経験豊富なディーラーと、将来のビジョンを共有し、お客様への現場に適した車両とサービスプログラムの提供に取り組んでいます。

「CSRサイト」のご紹介

弊社ホームページにて、社会性報告や環境報告など、すべての内容を専用サイトで紹介しています。本ダイジェスト版と併せてご覧いただければ幸いです。

<http://www.hino-global.com/j/csr>

日野 CSR

で検索してください



日野自動車株式会社

〒191-8660 東京都日野市日野台3丁目1番地1

総合企画部 Tel.042-586-5005 Fax.042-586-5299